

京都モデルフォレスト協会 平成23年度事業報告

1 京都モデルフォレスト運動の普及啓発

(1) 「東日本大震災」と「国際森林年」の取り組み

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災は、大きな被害をもたらしました。当協会では、「緑の募金」とおして国土緑化推進機構や他府県の緑化推進委員会と連携し、被災地域の復旧・復興の支援に取り組みました。平成 24 年度も引き続き被災地域の森林整備や緑化等に取り組んでまいります。

また、昨年は国連が定めた「国際森林年」でした。当協会では 8 月 27 日植物園において記念イベント「森を語る～以森伝心」を開催し宮城泰年理事から講演をしていただきました。

(2) 普及啓発イベント等でモデルフォレスト運動をPR

- ・新緑祭 in 府民の森ひよし
(5/2～5/5) ※京都府と共催
- ・京都大作戦（太陽が丘での野外コンサート）
(7/9～10) 活動のPRと緑の募金活動
- ・水都大阪森林の市にブース出展
(10/8～9)
- ・水土里フェスタ（御池地下街）にブース出展
(11/18-11/23) ※水土里ネット、森連と共催
- ・農林水産フェスティバル（パルスプラザ）にブース出展
(11/26～27)
- ・京都環境フェスティバル（パルスプラザ）にブース出展
(12/10～11)
- ・「企業の森づくりフェア 2011」（東京ビックサイト）にブース出展
(12/15～17)

(3) 国際森林年記念イベント等

- ・国際森林年記念イベント（8/27）

「森を語る～以森伝心」を京都府立植物園において開催しました。

基調講演は、宮城泰年氏（当協会理事、本山修験宗管長、聖護院門跡門主）が屋外の緑陰の中で、また、只木良也氏（国民森林会議会長） 高原光氏京都府立大学大学院教授との鼎談は植物園会館内で行いました。

府民の方々約 80 人の参加がありました。

(4) 広報誌『以森伝心』の発行、HPでの情報発信ほか

- ・年 3 回情報誌を発行し、会員に配布したほか、HP やイベント等で情報発信しました。

- ・ 企業等からの要請を受けて、モデルフォレスト運動の意義や取組状況、森林を守り育むことの重要性等を説明し、活動への参加を呼びかけました。
- ・ 通常総会(5/19)の記念講演として、貴船神社宮司で協会理事の 高井和大氏から「森と水の信仰」と題して講演をいただきました。

2 森林ボランティア活動の推進

① 近畿地区「森づくり活動コーディネーター養成ブロック研修」の開催（4/21～23）

地域や企業等において自立的、持続的な森づくり活動を行おうとしている団体で、企画や運営に携わっている者を対象に、組織運営や魅力的な活動の企画・運営の手法等の習得を図るための研修を開催し、近畿2府5県から24名の受講がありました。

里山の講義、組織の課題の解決方法、里山林の利用実習施設の見学などを行いました。

② 竹の環プロジェクト開催（4/23、10/15 両日とも雨天中止）

平成19年度から毎年春・秋の2回にわたり京大桂キャンパス内において竹林の整備やタケノコ掘り等を実施しています。今年度も住友生命、京都大学、協会会員や周辺住民等から約200名の応募がありましたが、両日とも雨天のため中止となりました。

③ 「京の七夕」用の竹材提供活動を実施（7/2 京大桂キャンパス）

昨年度に引き続き「京の七夕」行事に必要な竹材を供給するために、会員等50名の参加を得て、京都大学桂キャンパス内の竹林整備を実施しました。

50本以上の伐採した竹材が「京の七夕」行事に利用されました。

④ 放置竹林整備体験活動（11/13 向日市内竹林）

京都銀行と共催で、向日市竹産業振興協議会会員の伐採指導をいただき、竹林整備行事を開催し50名の参加がありました。

伐採した竹は、竹林から運び出し竹箨に加工するなど有効利用活動等に取り組みました。

⑤ 京都の伝統文化継承に貢献する森づくり活動実施（12/4、3/10（雨天中止）三井物産社有林）

五山の送り火や鞍馬の火祭で使うマツやコバノミツバツツジの育成、確保のための広葉樹の抜き伐り作業体験を通じて、京都の伝統行事の伝承への貢献と森林整備や木材利用の重要性等への理解を深めるための活動を昨年度に引き続き、大文字保存会、鞍馬火祭り保存会の協力を得て、会員等約30名が広葉樹の整備活動を実施しました。

⑥ フォレストレンジャー養成講座（11/12、12/10、1/21）

日頃活動のリーダーとして活躍されている方々の知識、技能を一層向上させることを目的とした「フォレストレンジャー」養成講座を全3回で開催し、5人の受講がありました。森の仕組みと樹木の学習、チェンソーの使用基礎、ボランティア活動の運営について実習と講義を行いました。

3 企業等の参加による森林づくり活動の推進

(1) 企業等からの寄付金による森林づくり事業の展開

企業等からの寄付を原資に、京都府森林利用保全重点区域等の森林整備を推進し、森林の公益的機能を確保するため森林づくり基金事業を設けている。23 年度は、それぞれの企業等が参加している森林づくり活動地への寄付（計 2,177 千円）のほか、次の企業等から府内の森林づくりのために寄付をいただき、森林づくり基金運営委員会（10/17 開催）で審議の上、府内の森林整備等に活用しました。

寄付者	寄付金額 (千円)	備考
京都銀行	3,575	2 月末現在
JR 西日本	1,499	
国際ソロプチミスト	313	
コカコーラ自販機	152	
近畿自販機サービス	10	

<寄附金による森林づくり基金事業の状況>

事業実施地域	交付額 (千円)	事業実施地域	交付額 (千円)
宇治田原町立川御林山 1 他 1 筆	653	南丹市八木町玉ノ井	559
宇治田原町南平ノ谷	700	亀岡市宮前町神前	32
井手町多賀一ノ谷	471	亀岡市篠町王子西長尾	348
宇治市炭山	446	亀岡市旭町湯谷山	150
和束町大字湯船	1,269	亀岡市東別院町東掛桜峠地内	1,077
宮津市小田	339	大山崎町字大山崎小字古城	500
八木町北広瀬	300	長岡京市浄土谷	900

(2) 企業等の参加による森林づくり活動の展開

23 年度はカシックス、関電労組、日東精工、龍谷大学が新たに森林づくりに参加され、府内での企業等の活動は 33 ヶ所、36 団体に拡大しました。

1) 地域住民等と連携した協議会等を設置 9 箇所

- 丹後モデルフォレスト地域協議会
- 毛原地域森林利用保全活動協議会
- 美山産官学公連携協議会（モデルフォレスト推進プロジェクト）
- 西山森林整備推進協議会
- 山城モデルフォレスト推進協議会
- 宮津ふるさとの森を育てる協議会
- 神前モデルフォレスト推進協議会
- 天王山周辺森林整備推進協議会
- 井手町豊かな緑と清流を守る協議会

2) 企業・団体等による森林づくり活動の概要

京都モデルフォレスト協会、市町村、京都府等と協定を締結するなどにより、森林づくり活動を行っている企業等の位置図は、別添のとおりです。

①活動の主な目的

活動の主な目的	企業等数	企業等名
環境保全 温暖化防止への貢献	18	東芝、NTTドコモ、積水化学工業、エス・ピー・ック、パナソニック・ライティング、KDDI、ニッセイ、住友生命、京大、島津製作所、オムロン、BATジャパン、カミッグ、モリカワグループ、京都生協、宮津ふるさとの森を育てる協議会、カシックス、関西電力労働組合京都地区本部
社会・地域貢献	14	村田製作所、三共精機、佛教大学 全労済、三洋電機、平和堂、 京都乙訓ローター、ワタキューセイメイ、三洋化成工業、 グンゼ、虎屋、陸上自衛隊、日東精工、龍谷大学
水源林の保全	3	サントリー、コカ・コーラ 京都南ライオンズ
伝統行事への貢献	1	三井物産

②活動の形態

形態	企業等数
① 社員等のボランティア活動	23
② ボランティア活動と資金提供	12
③ 資金提供	1

③主な活動内容と年間の活動回数

主な活動内容	企業等数
広葉樹の整備	29
人工林の整備	12
竹林の整備	7
木工等	8
環境学習等	16

年間活動回数	企業等数
2回程度	30
5回程度	4
6回以上	2

(3) 森林づくり活動の支援

①モデルフォレスト運動“知恵だしワークショップ”を開催

2月19日 京都府立大学において、「モデルフォレスト運動のネットワーク化を目指して 共有と連携～「点」から「面」への展開～」と題して、企業・団体で森林づくりをされている関係者や府立大学関係者モデルフォレスト運動に関心のある方など約25名が集まってワークショップを開催しました。

今回のワークショップは、京都府立大学森林科学科と京都モデルフォレスト協会の共催で開催したもので、国際ネットワークの動向や森林づくり活動をしている企業・団体の取り組みをご紹介いただき、意見交換を行いました。

②京都新聞に連載広告を掲載

企業参加の森林づくり活動をPRし、さらに企業等の参加を促進するため、過年度から実施してきている「美しい森林づくりの新たな担い手」と題してのシリーズ広告を京都新聞に掲載しました。

今年度に広告を掲載した企業等は、陸上自衛隊、カシックス、モデルフォレスト協会の3団体です。

4 緑の募金の推進

(1) 緑の募金活動の実施

平成23年度の緑の募金活動は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響下の中で、協会、京都府、市町村、関係団体並びに企業等との協力・連携の下、取り組みました。

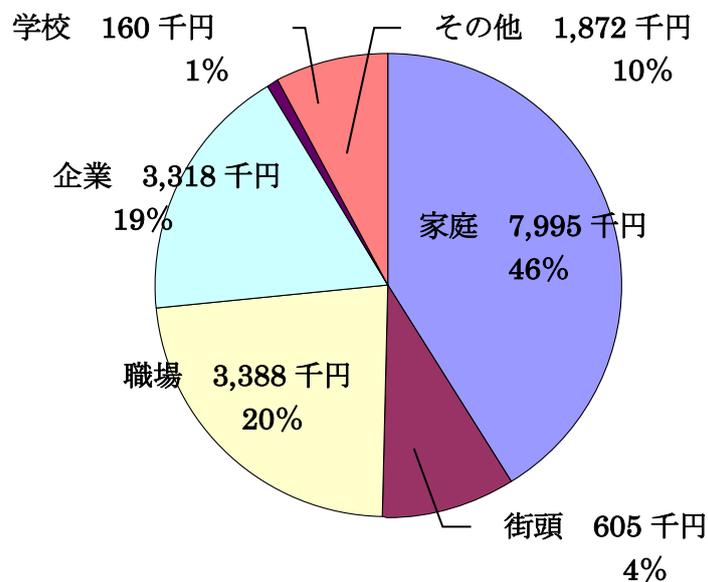
春の募金活動が、東日本大震災の義援金募集と重なり、街頭募金等が伸び悩みましたが、秋の募金活動等により、募金額については昨年の98.0% 募金実績は17,339,234円、に止まりました。

期	目標額	春期募金実績	秋期募金実績	合計	前年比
H23	21,000,000円	9,634,668円	7,704,566円	17,339,234円	98.0%
H22	21,000,000円	15,021,715円	2,673,013円	17,694,728円	89.7%
H21	20,000,000円	15,713,844円	4,016,411円	19,730,255円	108.1%
H20	20,000,000円	14,963,309円	3,280,168円	18,243,477円	107.2%
H19	20,000,000円	14,350,716円	2,671,045円	17,021,761円	111.4%

<緑の募金に寄付をいただき協会(国土緑化機構)から感謝状を贈呈した企業等>

- (株)DAC,DAC 安全衛生協力会 (900千円…19~23年度)
- 京都府ホンダ会 (1,031千円)

緑の募金の方法別内訳



・ 企業のCSR活動の一環としての募金活動

企業 CSR 活動の一環として、積極的に緑の募金キャンペーンを展開いただいた。

<キャンペーン>

- ・ (株)スミフル：Eco バナナの販売数に応じて募金

・京都府ホンダ会、ジュビラン協同組合：加盟店に緑の募金を呼びかけ集約

・ **飲料自動販売機で募金活動**

飲料会社と自動販売機設置オーナーとで契約後、毎月、売上に応じて緑の募金を寄付
 いただいております、現在、府内 53 社の協力を得て設置されている。平成 23 年の自動販
 売機による募金額は 1,527,529 円となっています。

【協力飲料会社】

ダイドードリンコ(株)、近畿中四国ペプシコーラ販売(株)、(株)伊藤園、アサヒカルピスビ
 バレッジ(株)、関西キリンビバレッジサービス(株)、ジャパンビバレッジ(株)、サンフーズオ
 ペレーション(株)

(2) **緑の募金による各種事業**

緑の募金は、学識経験者等で構成する「緑の募金運営協議会」で審議（2/14 に開催）
 の上、事業実施希望者を公募するなどして、森林整備、緑化推進、緑の少年団活動等の
 森林環境教育、緑化や森林づくりの普及啓発等に活用しました。

① **森林整備**（1,300 千円）

ボーイスカウトやガールスカウトが行う森林愛護活動に対し、資材等の購入に必要な
 経費及び森林整備活動や研修の経費について助成しました。

また、森林ボランティア団体等による、京都府民参加型の森林整備・保全活動等を支
 援するための助成金を交付しました。

【23 年度取り組み団体】

団体名	事業名
天王山周辺森林整備推進協議会	天王山マツ山再生プロジェクト
京都森林インストラクター会	衣笠山ナラ枯れ被害地植樹
京都大原里づくり協会	大原の豊かな里山づくり活動
特定非営利活動法人 和の学校	里山学習と木枝細工教室
特定非営利活動法人 八幡たけくらぶ	放置竹林整備・真竹林再生活動
ツークライミングクラブ®森遊隊	森の学校
フォレスターうじ	森林公園整備
特定非営利活動法人 ナチュラル	井手山縁地区荒廃竹林・田整備
特定非営利活動法人 加茂女	放置竹林整備活動
特定非営利活動法人 京都発・竹・流域環境ネット	シンポジウム 森・里・海を考える
せいか里山の会	自然環境保全活動

② **緑化推進**（4,510 千円）

ア 地域緑化

地域での緑化を推進するため、府内の老人クラブに委託して養成されたツツジや
 サザンカの苗木 270 本と京都府緑化センターから購入した桜苗木 365 本を地域の団

体に無償配布し、公園や道路沿線、公共施設等に植栽しました。

<緑化樹委託先>今山長春クラブ（南山城村）、船枝紫雲クラブ（南丹市）

<主な配布先> 南山城村グラウンド、八木町農村公園、大宮町さくら公園など

イ 学校緑化

教育環境の整備と緑を愛し育てる心を育むため、府内の小中学校 20 校に対し、植樹木の購入等に要する経費に対して助成しました。

学校名	学校名	学校名
京都市立紫明小学校	宇治市立笠取小学校	亀岡市立南つつじヶ丘小学校
京都市立下京渉成小学校	城陽市立古川小学校	南丹市立八木小学校
京都市立上鳥羽小学校	八幡市立男山第二中学校	南丹市立宮島小学校
京都市立松原中学校	木津川市立相楽台小学校	京丹波町立和知小学校
京都市立洛水中学校	木津川市立木津南中学校	宮津市立栗田中学校
向日市立第 2 向陽小学校	木津川市立木津小学校	京丹後市立吉野小学校
長岡京市立長岡中学	精華町立精華西中学校	

<ローソン緑の募金による学校緑化>

長岡京市立神足小学校

福知山市立美鈴小学校

<GGG(ゴルフ緑化促進会)緑化協力金による学校緑化>

京都市立金閣小学校

ウ まちなかの森づくり事業

森や緑の少ない街中において、暮らしに潤いを与える緑の環境づくりを進め、府民等の森林や緑の大切さの認識を広めるため、身近な森づくりとしての植樹活動に助成金を交付する事業を公募しました。

【23年度の取組団体】

団体名	事業名
京都府立木津高等学校	新農場・住宅地境界緑化
京都府立盲学校	校庭への果樹等植栽
(財) 城陽市民余暇活動センター	城陽パーク中高木植栽
京都府立桂高等学校	屋上緑化
(財) 京北ふるさと公社	地域緑化

エ 緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクール

京都府と共催で、府内小中高校の生徒等を対象に緑化及び愛鳥ポスターコンクールを実施した。優秀作品は、8月17日からイオンモール京都ハナ（京都市右京区）等で展示するとともに、表彰式を開催しました。また、全国応募のポスター原画コンクールに応募した。

応募総数 緑化運動ポスター：190校 1,403点

愛鳥週間ポスター：200校 1,456点 計 2,859点

★平成24年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者

＜小学校の部＞
農林水産大臣賞



片山千夏
福知山市立金谷小学校2年

オ 緑の少年団等育成

森林や緑の大切さを学ぶ緑の少年団活動を支援しました。

③ 地域での取組支援(緑の募金交付金) (9,015 千円)

地域の緑化推進団体(緑の募金支援団体)が、それぞれの地域で森林整備、植樹祭、緑の少年団育成等の森林や緑を守り育てる取組みを実施するための経費として、各団体の緑の募金実績の75%を交付するとともに、緑の募金法施行規則第6条に基づき(社)国土緑化推進機構に中央交付金を交付しました。

平成23年度 緑の募金交付金一覧

交付先	交付額 (千円)	主な取組
京都・乙訓緑化推進委員会	890	ボーイスカウト・ガールスカウトの森林整備活動 森林ボランティア団体活動支援、都市緑化、学校緑化、森林整備・緑化推進啓発活動
山城モデルフォレスト推進協議会	1,394	森林ボランティア団体活動支援、緑の少年団、愛鳥モデル校活動助成、植樹助成等
(財)亀岡市都市緑花協会	1,101	苗木・プランター配布、花づくりコンクール、緑の少年団活動
南丹・京丹波林業振興会	472	緑化樹の苗木配布
福知山緑化推進委員会	1,251	森林ボランティア団体活動支援、地域緑化事業、千年の森メモリアル植樹祭、緑の少年団活動
舞鶴市緑化推進委員会	2,057	地域緑化、学校緑化、植樹祭開催、青少年の団体育成活動助成等
綾部緑化推進委員会	316	苗木配布、緑の少年団活動助成等
与謝地方林業振興会	407	地域の植樹活動支援、緑の少年団活動等
丹後地方林業振興会	107	植樹、緑の少年団活動等助成
小計 9団体	7,995	
(社)国土緑化推進機構	1,020	